

詩集 風と雲とボクラ 大丈夫、君は一人じゃないー

によせて

柳井 美紀子

十時のんは 私の夫の妹である。

互いの子供が小さい時は、家族、両親、共に野山に遊びにも行った。

今は病床で限られた一日一日を、優しい家族に囲まれて、静かに過ごし、第二の誕生の時を待っている、

縁あって、誕生日も同じ、これからも毎年、七月一日には誕生日おめでとうと言いたい。大人になった子供たちの話をしたい。彼女の笑顔にふれていたい。

しかし、それがかなわないのなら 十時のん として、書いた たくさん詩のメッセージを伝えて行きたい。後に続く若者たちが、これからの人生を切り開く時の 応援の言葉になればと彼女は願っている。

「空と風ととボクラー大丈夫、君は一人じゃないー」が刊行されたのは二〇一三年九月「長年の私の夢が叶いました。詩集ができました。」と話す妹の笑顔は最高だった。若い時から、詩や書を書くことが大好きで、出版はずっと望んでいたことだった。

悪性リンパ腫のつらい治療以上に、詩集の発刊が命に力を与えてくれるように、私たちは祈っていた。病気の進行の方が早かったが、今 病気を凜として受けとめ、見つめ 毎日を

大切に生きる姿は尊敬の念に堪えない。

今回、未来へのメッセージ舎にご縁がつながり、電子図書館に収録という運びに

なったことは、本人、家族にとっても新たな大きな喜びであり 神からのギフトのようにも思える。これからもずっと十時のん の言葉が輝きますように。(二〇一四、一〇、二十

二)

今日という日を明日につなぐ

そのために誰もが 今を生きている

今日この日があることが 奇跡であるならば
見えないたくさんの絆で

この先も 永遠につながってゆけるのかもしれない
それが どんな形であつても…



笑顔でいたいから (抄)
ブログのぶりんのつぶ哲より

